## 【 2款 総務費 】

## 1 総務管理費

#### (1) 一般管理費

少子高齢化、高度情報化などが進展し地方分権が推進される中、複雑多様化する行政ニーズに対応し、分権時代に対応できる環境の整備や職員の資質向上が求められている。こうしたことから、開かれた行政、市民総参加のまちづくりを進めるとともに、長崎県市町村職員研修センター主催の研修をはじめとする各種研修への職員の参加等を積極的に行った。また、国家公務員においては平成21年4月から改正国家公務員法の施行による新しい人事評価制度が実施されており、今後、地方公務員法の改正による同制度の義務化が予想されることなどから人事評価制度構築に向けた取り組みに着手した。

また、平戸市市民表彰式を行い各般にわたって市政の振興に寄与した者や、市民の模範と認められる行為があった26人及び2団体に市民表彰を授与し、個々の業績を称え本市の自治振興を促進した。

また、市長自らが各地区に赴き、地域の実情や課題等を把握し、市民の皆さんの声をより市政に反映させるため、移動市長室及び市政懇談会を開催した。

#### (2) 広報費

広報活動については、市政に関する情報を市民等に広く周知するため、「広報ひらど」の発行及びホームページによる情報発信を行った。

「広報ひらど」とホームページに、市民の声のコーナーを設け、市民の意見を積極的に収集することに努めた。

#### (3)情報通信費

平成23年7月24日に完全移行した地上デジタル放送について、難視聴対策のための共聴施設整備に対する補助を行った。

また、地域社会における情報化を推進し、地域の活性化及び豊かな市民生活の実現を図るため、平戸市地域情報化推進協議会を設置し協議会を開催した。

#### (4) ふるさと振興費

本市では、地方分権、自治体財政の悪化、少子化・高齢化、環境保全や産業の空洞化等、多様化高度化する地域社会の課題に対して、法令等に基づく画一的な行政サービスでは十分な対応が困難となる中、新たなまちづくりのシステムとして、「市民と行政が対等・平等な立場で、お互いを理解し尊重しながら協力してまちづくりを行う」協働によるまちづくりを進めている。

平成24年度は、平戸市まちづくり大会を核として、市民活動を推進する施策を強化するとともに、新しいコミュニティの形成を目指した地域の元気づくり支援交付金を創設し、住民自治の確立に向けた取り組みを実施した。

また、定住対策については、ホームページ等による情報提供や定住希望者への相談対応、また、田舎暮らし体験ツアーの開催により、本市への定住の促進を図った。

さらに、農林、水産、商工関係団体及び市で組織する協議会において、独身男女のめぐりあいの場を提供するイベントを開催した。

#### (5) 国際交流費

平成23年9月18日に姉妹都市締結を行ったオランダ王国ノールトワイケルハウト市との姉妹都市交流事業として、市内高校生12名を青少年訪問団として派遣し短期留学事業を行い、両市の友好交流を深めた。

さらに、友好都市である中国福建省南安市との交流では、日中国交正常化40周年を記念して開催された「日 中友好交流都市中学生卓球交歓大会」へ両市の中学生からなる合同チームを編成して大会へ参加した。

また、国際交流につながる活動を行う団体の交流活動に対し助成を行い、市民団体レベルでの国際交流を推進することができた。この他に 2013 年は平戸に英国商館が設置されて 400 周年を迎えることから、各種記念事業を実施するための事前調査等を行った。

#### (6) 国土調査事業

本事業は、土地の保全及びその利活用の高度化に資するとともに、地籍の明確化及び土地行政の円滑化を図り、土地に関する紛争の未然防止や早期解決、土地取引や公共工事の円滑化など、市民生活並びに行政施策ともに効果性の高い事業として実施した。

#### (7) 交通政策費

度島、高島地区の生活航路を維持・確保するため、離島航路の運航補助や運航委託を行った。また、地方 バス路線の確保を図り、地域住民の福祉の向上に資するため、ふれあいバスの運行補助などを行った。さら に、鉄道交通の安全性の確保と利便性の向上のため、松浦鉄道(株)が行う施設整備に対し支援を行った。

## (8) 諸費

市内6か所で市民総合相談所を開設するとともに、市民総合相談室を常設し気軽に相談できる機会を設け、 悩み、相談、トラブルなどの解決を図るための助言等を行った。

# 【 2款 総務費 】

## 2 徴 税 費

賦課事務については、地方税法、市税条例等を基に公平・公正な課税に努めており、電子申告をインターネットを通じて受付けることができる「eLTAX システム」の導入が完了し、利用者の利便性と事務の軽減化・経費削減が図られた。

また、固定資産税課税の適正及び公平化ならびに課税業務の円滑な遂行を図るため導入している土地評価システムにおいて平成27年度評価替えに向け、航空写真のデジタル撮影を実施した。

徴収事務については、デフレ等による景気低迷が続く中で、依然として滞納整理を取巻く環境は厳しい状況 にあるが、「納税推進行動計画」に基づき、滞納整理の促進に努めた。

特に平成20年度から実施している「捜索」等により滞納者の生活実態を把握し、納税相談を行う中で多重債務等の解消についても指導を行うなど、納税者の生活再建にも寄与するとともに、税に対する納税意識の高揚にもつながっている。このような取り組みの結果、過払い金の還付による自主納付の増加や差押えによる公売会の実施などの効果があり、平成24年度は特に不動産公売に取組み、滞納繰越分の収納率が飛躍的に増加し、県下でも上位を維持している。

しかしながら、過払い金の請求等については効果が限定的なこともあり、今後も研修等による滞納整理担当 職員の資質向上に努めるとともに、引き続き、捜索や合同公売会、不動産公売を実施するなど、さらなる徴収 事務の推進に努めていきたい。

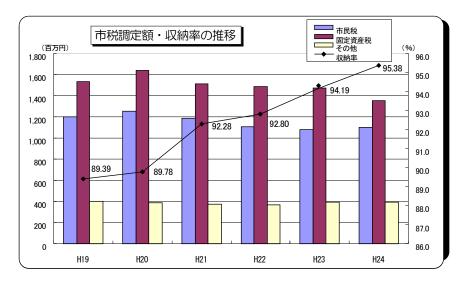
調定額、収入額及び収納率の比較

(単位: 千円、%)

117CH21 PT 111771 PT 11171									
年度	7	P成 23 年度		平成 24 年度					
税目	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率			
市民税	1, 082, 145	1, 046, 922	96.7	1, 103, 186	1, 076, 191	97. 55			
固定資産税	1, 471, 166	1, 345, 074	91.4	1, 351, 937	1, 256, 190	92. 92			
軽自動車税	94, 138	89, 538	95. 1	94, 787	90, 755	95. 75			
市たばこ税	211, 994	211, 994	100.0	215, 207	215, 207	100.0			
入 湯 税	27, 973	27, 973	100.0	27, 720	27, 720	100.0			
都市計画税	60, 311	55,002	91.2	55, 462	50, 786	91. 57			
計	2, 947, 727	2, 776, 503	94. 2	2, 848, 301	2, 716, 851	95. 38			
うち滞納繰越	190, 990	79, 744	41.8	158, 927	78, 856	49, 62			

<sup>※</sup>滞納繰越分を含む。

事 業 名	事 業 内 容	事	業	費
人事評価制度構築 事業 (総務課) 【事項別明細書 90頁】	人事評価制度の構築に向け、職員アンケートを行い、平戸市職員 人事評価に関する検討委員会において、人事評価制度の設計・構築 について検討を進めた。また、人事評価制度マニュアルにより、職 員を対象として制度説明会を開催した。 ・職員アンケート 594人 ・検討委員会開催回数 6回 ・制度説明会 368人			3, 004



## 3 選 拳 費

次の選挙を執行した。

① 長崎県北部海区漁業調整委員会委員一般選挙 (無投票)② 国営田平土地改良区総代選挙 (無投票)③ 田平土地改良区総代選挙 (無投票)

④ 衆議院議員総選挙。最高裁判所裁判官国民審查 (投票日:平成24年12月16日)

#### 4 統計調査費

平成24年度において、統計法に基づく以下の統計調査を実施した。

① 工業統計調査 ② 住宅・土地統計調査(単位区設定)

③ 就業構造基本調査 ④ 経済センサス

(単位:千円)

	財	源	内		訳		事業の成果
国県支出金	地	方 債	そ	の	他	一般財源	ず未り瓜木
						3,004	人事評価制度導入に向け、人事評価マニュアル及び職員の行動指針となる、求める職員像を策定することができた。また、制度説明会の実施により、人事評価制度に対する職員の理解が深まった。

事業名	事 業 内 容	事業	費
市民表彰制度事業 (総務課) 【事項別明細書 90頁】	本市の政治、経済、文化、社会その他各般にわたって市勢の振興に寄与した者や市民の模範と認められる行為があった者など特別2人、個人24人及び2団体に市民表彰を授与した。 平戸市市民表彰式 期日 平成25年2月23日 場所 平戸文化センター 表彰 特別 体育 2人 個人 地方自治 8人 産業 4人 体育 1人 消防防災 4人 交通安全 2人 徳行 1人 寄附 2人及び2法人 団体 優良団体 2団体		132
移動市長室開催事業 (政策推進課) [事項別明細書 96頁]	地域の実情や課題を把握し、市民の声を市政に反映させるため、 市長自ら各地域に赴き、地域住民との意見交換を行った。 開催状況 移動市長室 5か所 15人 市政懇談会 8か所 468人		36
平戸市振興公社公 益法人移行事業 (企画課) 【事項別明細書 98頁】	公益法人制度改革に伴い、(財)平戸市振興公社が旧法から新法に 基づく法人へ移行する際に必要となる手続き等を専門家へ委託する 経費に対し、助成を行った。 全体事業費 3,360千円(H23:1,680千円 H24:1,680千円)		1,680
情報格差等対策事業 (政策推進課) 【事項別明細書 100 頁】	平戸市地域情報化推進協議会を設置し、地域情報化の指針の策定 のため協議会を行った。 委員13名 協議会開催 4回		139
無線システム普及 支援事業 (政策推進課) 【事項別明細書 102頁】	平成 23 年 7 月 24 日の地上デジタル放送移行に伴う難視聴対策として、共聴施設の整備に対する補助を行った。 実施地域 2 件 鮎川地区(平戸南部) 12 世帯 大久保地区(生月) 24 世帯		17, 610
高齢者交通安全対 策事業 (市民課) 【事項別明細書 108頁】	運転免許保有者数に占める高齢者の割合が増加傾向にあり、交通 死亡事故の当事者となる高齢者の比率も増加傾向にある。その中で も高齢者が加害者となる事故が増加していることから、体験型の運 転者講習会を行った。		187

	財	源	内	訳		
国県支出金	地 ブ	方 債	そ	の他	一般財源	事業の成果
					132	市政功労者・功績者等の表彰を行うことにより、事績を広く 紹介し、市勢の振興と経済、社会、文化等の発展に対する市民 の意識の高揚を図ることができた。
					36	各地域や市民一人ひとりが抱える問題・課題について、生の声を直接耳にすることで、実態把握ができ、今後のまちづくりに活かすための課題を整理することができた。
					1,680	新法に適合するための財務状況の把握や定款の整備などの手続きが円滑に進められ公益財団法人として認定された。
					139	地域情報化の現状と課題を把握することができた。(平成 25 年度も継続して事業実施)
			1	7, 244	366	地上デジタル放送移行に伴って、新たな難視聴地域となった世帯の良好な受信環境を保つことができた。
					187	講習会を受講することで、自分自身の運動能力、判断力等の 低下を体験することにより、安全運転の意識の向上に寄与した。 【参加人数】 1日目:17人(平戸地区) 2日目:15人(生月・田平・大島地区)

事 業 名	事 業 内	容	事 業 費
地域間交流推進事業 (政策推進課) 【事項別明細書 112頁】	【枝幸町・平戸市いきいき交流事業】12月 平成14年度から始まった北海道枝幸町 は、市内中学生6名が枝幸町を訪問し、対 通して枝幸町の中学生や地域住民と親睦を 【善通寺市市民号訪問】 10月20日~21 昭和60年に弘法大師が取り持つ縁で姉姉 川県善通寺市とは、隔年ごとに相互訪問を 市から市民号使節訪問団17名が友好親善 城下秋まつりへの善通寺市特産品の出店 た。	762	
地域総合整備資金 貸付事業 (企画課) 【事項別明細書 112頁】	地域振興に資する民間事業者の支援を目 て、平戸市森林組合が行う菌床椎茸栽培が 行った。 貸付対象事業費 171,450千円 財源内駅 国費 85,725 - 森林組合負担額 貸付金 14,000千円(森林 新規雇用者 25名予定	14, 000	
地域めぐりあい創 出事業 (企画課) 【事項別明細書 112頁】	農林、水産、商工関係団体及び市で組織 身男女のめぐりあいの場を提供するイベン ○イベント開催数 5回 イベント名 プチ my 畑と海の幸 Vo13 プチ my 畑と海の幸 Vo14 クッキング de ホットなめぐりあい 平戸牛 de 焼肉LOVEコン 平戸恋するスポ婚 合 計		575

	財	源	内	訳		事業の成果
国県支出金	地	方 債	そ 0	)他	一般財源	尹 未 の 瓜 木
				84	678	姉妹都市及び交流都市と市民レベルでの親睦と交流を深めるとともに、「平戸くんち城下秋まつり」に特産品が出品されるなど、今後においても人的交流とともに物産交流などが期待される。
	14	4, 000				長期かつ無利子の貸付により事業者の負担軽減が図れたとともに、本市の産業振興・雇用促進に寄与した。
193					382	協議会参画団体による体験型の婚活イベントを実行することで数多くの出会いの場を提供する体制が整った。しかし、近年、街コンなど参加者ニーズが多様化し、年々、参加者が減少している。今後は、時代にマッチしたイベントを企画するなど新しい出会いの場を粘り強く提供したい。

事業名	事 業 内 容	事 業 費
協働によるまちづくり推進事業 (企画課) 【事項別明細書 112頁】	本市が目指す協働は、市民が「自ら考え」「自らの力で」実行することを基本におき、市民と行政がお互いを理解し、尊重しながら、それぞれの役割を担い、ともに地域を支えあうことを目的にまちづくりを進めた。 平成24年度では、これまでの地域活動に対する支援を見直し、その活動を支える市民活動団体の育成及び強化を目的とした「やらんば市民活動サポート事業補助金」を創設し、段階に応じた継続的な支援を構築し、市民が主体となったまちづくりの推進を図った。また、これまでの支援を引き続き実施することで市民と行政が一体となった協働のまちづくりの推進を行った。	24, 057
	<ul> <li>・やらんば市民活動モデル事業委託料 2件 1,558千円</li> <li>・やらんば市民活動サポート事業補助金 12件 3,059千円</li> <li>①はじめの一歩部門 3件 300千円</li> <li>②活動ステップアップ部門 1件 200千円</li> <li>③新規事業チャレンジ部門 8件 2,559千円</li> </ul>	
	<ul> <li>・市民カアップ支援事業補助金 1件 5,000千円</li> <li>・まちづくり活性化交付金 12件 13,620千円</li> <li>① 生月地区 4件 6,375千円</li> <li>② 田平地区 5件 3,777千円</li> <li>③ 大島地区 3件 3,468千円</li> </ul>	
	・まちづくり大会経費他 820千円	
地域の元気づくり 支援交付金事業 (企画課) 【事項別明細書 112頁】	市民の参画と連携による自立した地域の確立を目指し、地域が一体となって、個々の課題解決などに取り組むために交付金を創設し、新しいコミュニティの組織化による地域活性化を図る。  【平成24年度 取り組み実績 2地区】 度島地区 お帰りなさいイルミネーション 400千円 田助地区 ふれあい交流 250千円 事務費(各事業に係る諸費) 70千円	720

	財 源	内 訳		事業の成果		
国県支出金	地方債	その他	一般財源	ず 木 ジ ル 木		
	17, 200	4,000	2, 857	平成24年度から新設した「やらんば市民活動サポート事業」 及び「平戸市まちづくり大会」を開催することで、新しい市民 活動団体の組織強化など機運が高まってきたが、実際に支援を 活用する団体は、少数に止まった。今後とも平戸市まちづくり 大会を核にして、市民の意識改革や機運づくりを行っていきた い。 また、まちづくり活性化交付金を生月・田平・大島に交付す ることで、地域の特性を活かしたまちづくりに寄与した。		
719			1	地域において、自治会を中心とした各種団体の連携が図られ、地域活動に対する市民参画の拡大や新しいコミュニティへの意識の高揚につながった。しかしながら、平成24年度の交付金活用地区は、2地区に止まった。今後も市民参加型のまちづくり推進のため、本交付金を活用する地区を増加させるため、各地区説明会を実施する。		

事 業 名	事 業 内 容	事	業	費
定住促進対策事業(企画課) 【事項別明細書 114頁】	ホームページ等による定住関連情報の提供を行うとともに、都市圏において開催された「ながさき田舎暮らしキャラバン」等に参加し、本市への定住希望者への相談対応を行った。また、平戸ならではの生活を体験してもらうための「田舎暮らし体験ツアー」を開催した。  ○ながさき田舎暮らしキャラバン及びふるさと回帰フェアー会場名本市相談者東京会場10件大阪会場22件合計32件  ○平戸市田舎暮らし体験ツアー参加者1回目4組5名2回目4組7名		1	1, 414
「やらんば!平 戸」応援基金プロ ジェクト事業 (企画課) 【事項別明細書 114頁】	ふるさと納税制度を受けて創設した「やらんば!平戸」応援基金 について、平戸市総合計画の「やらんば燦燦プロジェクト」を達成 するための事業への活用を行った。 市内公民館プロジェクター購入(4台) 809 千円			808
国際交流員招致事業 (政策推進課) 【事項別明細書 116頁】	姉妹都市交流事業などの国際交流事業を円滑に実施するため、国際交流員1名(オランダ人)を雇用し、通訳業務を行うとともに、学校訪問や各種イベント等において、異文化の理解を深める交流を行った。		4	1, 656
南安市友好交流事業 (政策推進課) 【事項別明細書 116頁】	日中国交正常化 40 周年を記念して開催された「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」に、鄭成功との歴史的なつながりで、友好都市を締結している中国福建省南安市の中学生と本市中学生の合同チームを編成し大会へ参加した。  開催日時 平成 24 年 8 月 16 日 (木) ~8 月 21 日 (火) 開催場所 中国北京市(中国オリンピックセンター体育館)参加者 平戸市 5 名 (中学生男女各 1 名、監督、役員、随行)			906

	財 源	内 訳		
国県支出金	地方債	その他	一般財源	事業の成果
		941	473	キャラバンやホームページ等による情報発信により 98 件の 相談を受け、7 世帯 16 名のU I ターン者の定住につながった。
				○U I ターン者数 平成 18 年度 1 世帯 1名 平成 19 年度 7 世帯 12名 平成 20 年度 5 世帯 10名 平成 21 年度 4 世帯 13名 平成 22 年度 6 世帯 13名 平成 23 年度 7 世帯 14名 平成 24 年度 7 世帯 16名
		808		公民館講座の充実並びに利用団体の活動の幅が拡充された。 今後ともふるさと応援寄付金の推進を図るとともに、寄附者の 意向を反映した効果的な基金の運用を行っていく。 〇「やらんば!平戸」応援基金残高 2,760千円(H24末)
	4, 100	18	538	国際交流員を配置したことにより、オランダ王国などとの交流事業の際に、円滑に事業運営ができた。また、学校訪問や各種イベント等を通じて異文化への理解に貢献するとともに、市民レベルでの国際交流を推進することができた。
			906	両市の友好親善を深めるとともに、スポーツを通じて 21 世 紀を担う青少年の友好交流の輪を大きく広げることができた。

2 款 総務費 - 13 - 2 款 総務費

事業名	事 業 内 容	事 業 費
平戸英国商館設置 400周年記念事業 (政策推進課) 【事項別明細書 116頁】 【事項別明細書 118頁】	2013 年は、平戸英国商館が設置されて 400 周年の記念の年となることから、官民一体となった実行委員会を組織し各種記念事業開催に向けた事前調査を行うため、実行委員会委員による訪問団を英国に派遣するとともに、記念事業 P R のための事前準備を行った。 【事前調査訪問】 訪問者 5名 期間 平成24年10月30日~11月4日 訪問先 イギリス国ロンドン市、メドウェイ市	3, 024
平戸英国商館設置 400 周年記念推進 事業 (政策推進課) [事項別明細書 118 頁]	平戸英国商館設置 400 周年記念事業を推進するため、緊急雇用創 出事業臨時特例基金事業を活用した実行委員会事務局の推進体制の 整備を行った。 雇用人数 1名 雇用期間 平成 25 年 2 月 1 日~3 月 31 日	468
ノールトワイケル ハウト市姉妹都市 交流事業 (政策推進課) 【事項別明細書 118頁】	平成23年9月に姉妹都市締結を行ったオランダ王国ノールトワイケルハウト市との更なる友好交流を発展させるため、市内高校生12名を青少年交流訪問団として派遣し短期留学事業を行った。  訪問期間 平成24年9月10日~9月23日参加人数 17名 (高校生12名、教員3名、国際交流員、随行)短期留学先 レーウェンホルスト中高学校	3, 224
国 土 調 査 事 業 (建設課) 【事項則期細書 118頁】 【事項別明細書 120頁】	土地の保全及びその利活用の高度化に資するとともに、あわせて地籍の明確化を図るため、下記の地区について地籍調査事業を実施した。         ①平戸港周辺地区地籍調査業務委託 (平戸港周辺地区、岩の上第 3-2 地区、岩の上第 2-2-1 地区)         ②大久保地区地籍調査業務委託 (大久保第 3 地区、大久保第 2 地区)         ③戸石川地区地籍調査業務委託 (戸石川第 2 地区、岩の上第 2-2-2 地区、戸石川第 1-1 地区)         ④地籍調査数値情報化業務委託 (岩の上第 2-1 地区、岩の上第 3-1 地区、大久保第 1 地区)         業務委託       工程         面積       筆数         事業費(千円)         ② かき・F       0.41 k m²       2,118 筆         G・H       0.93 k m²       1,793 筆         30 かき・F       0.92 k m²       1,974 筆       43,177         ④ 日・E・F       0.92 k m²       1,974 筆       43,177         ④ 日・E・F       0.92 k m²       1,974 筆       43,177         ④ 日・日・F       0.10 k m²       -       840	105, 449

	財	Ü	原	内	訴		
国県支出金	地	方,	債	そ	の他	一般財源	事業の成果
					1, 570	1, 454	関係する各種団体及び地域代表からなる実行委員会が組織され、官民が一体となった記念事業への取り組みがなされた。また、事前調査を実施したことで、史実を記した資料として、徳川家康が発行した「朱印状」の存在により、交易の史実を確認することができたとともに、イギリス側関係団体等の協力を得られるなど、記念事業実施に向けた準備を行うことができた。
468							新たな雇用創出が図られたとともに、記念事業を推進するための事務局体制整備が図られた。
					593	2, 631	姉妹都市としての更なる友好交流の促進が図られるとともに、日本とオランダの教育の違いや、ホームステイを通じての文化・生活の違いを体感することができ、次代を担う子どもたちの国際的な視野を広げることができた。
77, 385					31	28, 033	平成24年度は、平戸港周辺地区、岩の上第3-2地区、大久保第3地区、戸石川第2地区、岩の上第2-2-2地区、戸石川第1-1地区の一筆地調査を実施し、次年度の地積測定、地籍図及び地籍簿の作成のための準備を完了した。及び、前年度に一筆地調査を実施した岩の上第2-2-1地区、大久保第2地区の成果の閲覧を行い認証・承認の手続きを経て法務局へ送付した。また、岩の上第2-1地区、岩の上第3-1地区、大久保第1地区の成果について、数値情報化による地籍情報管理システム基礎データを作成することにより、国土調査の成果の管理と利活用を図ることが可能となった。

2 款 総務費 - 15 - 2 款 総務費 - 2 数 総務費

事業名	事 業 内 容	事 業 費
離島航路対策事業 (企画課) 【事項別明細書 120頁】 【事項別明細書 122頁】	度島地区住民の生活航路を維持するため、平戸一度島航路の運航事業者に対し運航補助を行った。また、大島・度島航路の悪天候時の薄香港寄港の際における臨時バスの運行委託を行った。  ○航 路:平戸一度島(本村、飯盛)1日4便1,467回運行旅客人員82,797人 自動車台数9,678台  ○臨時バス:68回運行 利用者1,206人	19, 450
高島地区航路対策 事業 (企画課) 【事項別明細書 122頁】	高島地区住民の生活航路を確保するため、宮の浦-高島航路の運 航委託を行った。 ○宮の浦-高島:420回運行、利用者891人	1, 960
路線バス維持対策 事業 (企画課) 【事項別明細書 122頁】	地方バス路線の確保を図り、地域住民の福祉の向上に資するため、不採算路線を運行するバス事業者に対し運行補助・委託を行った。  ○市内生活路線維持費補助 45,013 千円  平戸 生月 大島  路線系統数 5 1 5  ○広域生活路線維持費補助 2,569 千円  路線系統数 1 路線 平戸~松浦線  ○ふれあいバス運行業務委託 17,360 千円  中部 (平戸) 南部 (平戸)  路線系統数 7 3	64, 951
松浦鉄道施設整備 事業 (企画課) 【事項別明細書 122頁】	鉄道交通の安全性を確保するため、松浦鉄道(株)が新経営改善計画(平成16年度〜25年度)に基づき行う老朽化施設の整備に対し、長崎県・佐賀県及び沿線自治体による支援を行った。 事業費:295,777千円 事業内容:レール重量化、分岐器重量化、マクラギ交換など	8, 607
防犯灯管理運営事業 (市民課) [事項別明細書 122項] [事項別明細書 124項]	各地区で設置・維持管理している防犯灯に対して補助を行った。	7, 113

	H-F		oner .	-		⇒n							(中世	: 千円)
	財		源	内		訳				事	業の	成果		
国県支出金	地	方	債	そ	の	他	一般財源							
							19, 450	図られ	た。		とともに、船	<b>亢路利用者</b> (	の利便性の	向上が
									区	等の推移 分	22 年度	23 年度	24 年度	±
								-	運航回数		1, 452	1, 444		
								l ==	旅客人員		80, 122	81, 288		
								_	動車台		8, 687	9, 966	_	_
												•	,	
							1,960		島地区住. 利用者数		手段の確保	に寄与した (単位 : 人)	0	
								1	区 分	22 年度	23 年度	24 年度		
								7	利用者	639	614	891		
					2,	254	62, 697	学・ii 平戸b	画院など 他区の補 川田者数 区 平戸 大島 平戸中 平戸南	の生活路 助対象区 の推移 分 地区	により、交i 線の確保に 間を拡大し 22 年度 86,523 5,532 11,485 37,274 17,353 9,799 167,966	寄与した。	平成 24 年 持を図った (単位: 24 年 2 152, 21 5, 33 13, 51 39, 23 16, 00 12,	度は、 た。 人) 度 978 309 845 119 325 769
		8, 1	100				507	向上に	こ寄与し 公浦鉄道	た。 (株) : 有田駅 分 数	〜佐世保駅 22 年度 57 26 1,038 1,859	93.8 km 23 年度 57 23 1,098 1,809	24 年度 57 23 1, 073 1, 859	便性の
							7, 113	ことで・ 弁	で、安全 新規	・安心ま	置及び維持 ちづくりに 36 基 ) 296 基	寄与した。 ・器具取春	F 77 基	を行う

事業名	事 業 内 容	事業費
人権問題啓発事業 (総務課) 【事項別明細書 124頁】	差別や偏見のない市民生活を目指し、人権擁護委員協議会と協力 して、小学校児童を対象に人権の花運動等の人権問題啓発活動を行った。 人権の花運動(指定校 根獅子小、生月小、大島小) 人権擁護委員会負担金 320千円	390
市民総合相談開催事業 (市民課) 【事項別明細書 124頁】	市内6か所で相談所を開設し、市民が気軽に相談できる機会を設けた。	84
市民総合相談室設置事業 (市民課) [事項別明細書 124項]	長崎県消費者行政活性化基金事業を活用し、消費者相談員の配置 及び啓発活動を実施した。 また、市民総合相談室を常設し、市民が相談しやすい環境を整え た。	4, 177
土地評価システム 管理事業 (税務課) 【事項別明細書 126頁】	固定資産税課税における税の適正及び公平化ならびに課税業務の 円滑な遂行を図るため、土地評価システムによりデータを整備して 評価を行っている。また、平成27年度固定資産評価替えに向け、基 礎資料となる土地、家屋の航空写真のデジタル撮影を行った。 〇システム内容 航空写真や地番図をデジタル処理した後、情報としてシステム内に取り込み、それぞれを重ね合わせながら、土地の状況を 判断し評価を行なうシステム。 〇作業内容 年度内のデータ更新(地番図、家屋図異動修正) 市内全域の航空写真の撮影・デジタルオルソフォト作成	21, 851

	財 源	内 訳	T	事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
16			374	人権に関する教育や啓発を行うことで、差別や偏見のない温 もりある心豊かな地域づくりを推進できた。
			84	近年さまざまな相談依頼があっており、そのため行政相談委員や人権擁護委員等の協力を得て、市民総合相談所を開設し、複雑な相談内容などの最善策を模索し市民がかかえる問題の解決に寄与した。 開設日及び相談件数 平戸南部地区:10月10日2件 田平地区:10月24日8件 平戸中部地区:11月5日4件 大島地区:11月21日3件 平戸北部地区:12月21日3件 生月地区:1月16日0件 相談室(常設) 93件 合計113件
2, 369		14	1,794	消費生活相談員及び啓発活動の充実を図ることによって、地域住民の生活や財産を守るとともに、専門員の配置による各種関係機関との連携強化によって、相談解決に努めた。 相談件数85件
			21, 851	システムにより評価の均衡化が図られ、公平且つ適正な課税を行うことができた。 また、市内全域の航空写真撮影を実施することにより、 平成27年度評価替えに向けて正確な客体の把握と基礎データの整備が図られた。

2 款 総務費 - 19 - 2 2 - 2 数 総務費

事業名	事 業 内 容	事業費
収納対策推進事業 (税務課) 【事項別明細書 128 頁】	捜索等による差押物件の合同公売会、平成 24 年度から不動産公売を実施するなど、滞納対策を積極的に行った。 また、国保事業と連携したFP(ファイナンシャルプランナー)による納税相談の実施や国税OBによる指導を受けるなど収納対策の強化を図った。  ○滞納処分件数 (単位:件)  19 年度 20 年度 21 年度 22 年度 23 年度 24 年度 交付要求 33 30 43 45 24 29  (債権 201 637 796 1,257 1,180 1,175 動産 0 37 101 121 121 72 押 不動産 10 28 9 11 11 59 自動車等 1 44 38 26 26 4 合計 245 776 987 1,460 1,337 1,340  ○捜索件数 (単位:件)  「捜索件数 (単位:件)	29
長崎県北部海区漁業 調整委員会委員一般 選挙 (選管事務局) 【事項別明細書 132 頁】	任期満了に伴う、長崎県北部海区漁業調整委員会委員一般選挙を執行した。 選挙すべき委員の数 9人 告示日:平成24年7月24日(火) 投票日:平成24年8月2日(木)	9
国営田平土地改良区 総代選挙 (選管事務局) 【事項別明細書 132頁】	任期満了に伴う、国営田平土地改良区総代選挙を執行した。 選挙すべき総代の数 35人 告示日:平成24年11月20日(木) 投票日:平成24年11月27日(木)	7
田平土地改良区総代 選挙 (選管事務局) 【事項別明細書 134頁	任期満了に伴う、田平土地改良区総代選挙を執行した。 選挙すべき総代の数 50人 告示日:平成25年2月14日(木) 投票日:平成25年2月21日(木)	17

			\										(単位:-	1 1 1/
	財		源	内		訳				事	業の原	文:	果	
国県支出金	地	方	債	そ	0	他	一般財源							
					1	57	141	○滞納	処分にな	いかる秭	充当の状況	2		
									_		件数		税充当金額	
								所得	引税 還	付 金	107	件	2,961 千円	
								預	貯	金	735	件	25,728 千円	
								動		産	72	件	2,383 千円	
								給		与	161	件	8,314 千円	
								不	動	産	59	件	12,437 千円	
								そ	の	他	206	件	12,347 千円	
								合		計	1, 340	件	64,170 千円	
								○公売	の状況					
											回数		税充当金額	
								インタ	ターネッ	ト公売	8	回	2,300 千円	
								合「	司公	売 会	5	回	713 千円	
								期間	引入 札	公 売	12	回	81 千円	
								不重	助 産	公 売	2	回	9,717 千円	
								合		計	27	回	12,811 千円	
								※件数	、税充≌	当金額に	ついては国	保和	兇等にかかる分	
								を含	た。					
92										におい		公職	浅選挙法第 100 条第	4項
						77		選挙の結 土地改				規定	どにより無投票。	
					1	78		選挙の結 土地改				規定	どにより無投票。	

事業名		事	業内	容		事	業費
衆議院議員総選挙、 最高裁判所裁判官 国民審查 (選管事務局) 【事項別明細書 134頁】	平成 24 年 11 月 衆議院議員総選挙 同時に執行した。 公示日:平成投票日:平成		23, 932				
	◎投票所・開票所	設置数	従事者数 従事者数	延べ日数	経 費		
	投 票 所	53 か所	299	_	9, 502		
	開票所	1か所	99	-	1, 167		
	期日前投票所	8 か所	159	43	2, 656		

	財	源	内	訳					<b>事</b> 类	5 4 П		PE. 1137		
国県支出金	地	方 債	その	他	一般財源		事業の成果							
23, 932						選挙の結果は、下記のとおり。								
						◎ 搭	是票約	吉果 (小選	挙区) 65	5. 38%				
							_		平戸	大島	生月	田平		
								有権者数 (人)	16, 809	1, 099	5, 361	5, 862		
						投票		小選挙区	65. 95	70.43	68.76	60. 44		
						率		比例代表	75. 94	70.43	68. 76	60. 44		
						(%)	)	国民審査	64. 28	70. 25	64. 52	59. 60		

2 款 総務費 - 23 - 2 表 総務費 - 24 - 2 表 総務費